

段級

氏名

しつろふ

多た

可か

奈な

口

古今和歌集 四八二 紀貫之
逢ふことは雲居(くもゐ)はるかになる神の音に聞きつつ恋ひわたるかな

おとこはなむらさき
つらさき

於お

耳に

悲ひ

王わ

昔は
可か
尔に
留る
神
乃の

昔は

可か

尔に

留る

神

乃の

あふ
東と
は
く
毛も
為る

東と

く

毛も

為る